



barue 8



ba ru e 8



ba rue 8



ba ruc 8



ba ruc 8



barue 8



barue 8



8 3 ru ba



ba rue 8



ba rue 8



barue 8

「お、新しい子入ってる
どれどれ試してみるか
どっちもいけるタイプ？」

「あっいらっしやいませっ
今日から入りました…ルウです
えと…どっちでも大丈夫です…」

「いいねおすすすめは？」

「ん…ん…す…す…
どちらかといえど…お尻の方が…」

んん♡

んん♡

「おおごりやいい
確かにおすすめするだけはあるな」

「ゲツの肉ひだがちんぽに
絡みついてくる」

「あッおあッお客様の
おちんぽッおっきくて
お尻めくれるッッ」

「初日にしてはちゃんと
メスオナホの接客ができてる
じゃねえか」

「はひいッありがとッ
ございませうッ」

「よしご褒美にたっぷり
ケツ穴に流し込んでやるッ」

「オラッ お客様の精液
尻肉で感じながらイケッ
メス便器ッ」

「おッ おおッ あごッ
お腹の中で精液びゆるびゆる
きてまあッッ」

「おおッ イグッ いぎまおッ
アナルイグッ いぎまおッ



「はあはあ…いかがでしたか…?
もしよろしければご購入の検討を…」

「おいおいまだ
まんこも試してないのに
気が早いぞ」

んえ

「まんこの方もぐちやぐちやに
使い倒してから買うかどうか
考えてやるよ」

んえ

んえ

プルプル

プルプル

數時間後

「おいおいまだ十数発しか
中にぶち込んでねえのに
もう豚声になっちまったよ」

「ふぎいッおッほッ
まだイグッおあッ」

「接客は良かったのに
思ったよりも持たなかったな
オラッもつとまんこしめる
もう一発行くぞッ」

「ふぎいッまッごええッ
もッしんじやごまッ」

ふぎいッ
ふぎいッ
ふぎいッ
ふぎいッ

パッ

パッ

パッ

ガッ

ガッ

びびッ

びびッ



「さっしゅさっしゅ」

さっしゅさっしゅ

さっしゅさっしゅ

さっしゅさっしゅ

さっしゅさっしゅ

さっしゅさっしゅ

さっしゅさっしゅ

さっしゅさっしゅ

さっしゅさっしゅ

さっしゅさっしゅ

さっしゅさっしゅ

さっしゅさっしゅ

さっしゅさっしゅ

「あ…ほ…おあ…
おまんこ…ッ…」

「あーあこんなんで
漏らしちまってだらしねえ
購入は見送りだな」

「きもぢ…い…
い…おッ…イグッ…」

「まあ肉の具合は良いから
たまに使いに来てやるよ
精々励めよ肉便器」